

2022年3月期

ソフト99コーポレーション

第2四半期 決算説明会

2021年11月30日

- 本資料には、将来に関する見通し、期待、判断、計画あるいは戦略が含まれております。この将来予測に基づく記載や発言は、製品の需要変動、景気動向、天候およびその他のリスクや不確定要素を含みます。
- 本資料に含まれる全ての将来的予測に基づく記載や発言は、資料の作成時点で入手可能な情報に基づいており、私たちは、このような将来予測に基づく記載や発言を更新する義務を負いません。
- またこの記載や発言は、将来の実績を保証するものではなく、実際の結果が私たちの現在の期待とは実体的に異なる場合があります。このような違いには、多数の要素が原因となりえます。

I : 企業グループの概要	P. 3
II : 連結業績概要	P. 6
III : 事業の概況	P. 9
IV : 中期経営計画に基づいた当社の取り組み...	P. 19
V : 通期業績予想と配当予想	P. 25
Appendix: 計数資料	

I : 企業グループの概要

株式会社 ソフト99コーポレーション

創 立 … 1954年10月28日

主要事業 … 自動車用・家庭用ケミカル用品の製造販売
機能性精密多孔質体製品の製造販売

従業員数 … 836名(2021年3月31日現在・連結)

関係会社 … 11社(当社含む連結対象企業)

当社主要製品の歴史

1969年
「ハンネリ」



1978年
「ボデーペン」



1987年
「タイネット」



1993年
「ぬりぬりガラコ」



1999年
「プラスセーヌ」



1999年
「フクピカwet」



2003年
「G'zoxシリーズ」



2006年
「メガネのシャンプー」



※ プラスセーヌ(旧 プラスセーム)は鐘紡株式会社より1963年に発売、事業譲渡にて1999年より当社グループによる製造販売を開始。

事業セグメント概要(1)

事業セグメント	サブセグメント	
① ファインケミカル 自動車用・家庭用ケミカル用品の製造販売	一般消費者用製品(自動車向け)	祖業 横展開による事業領域拡大
	業務用製品(自動車向け、その他産業向け)	
	家庭用品等製品	
	海外事業	
	タイヤ空気圧監視装置 企画・開発・販売	
	電子機器・ソフトウェア開発	
② ポーラスマテリアル 機能性精密多孔質体製品の製造販売	産業資材 (ハイテク産業向け精密洗浄・研磨・濾過用途製品) (医療・衛生用途製品)	M&Aによる事業領域拡大
	生活資材 (自動車、キッチン、化粧品、スポーツ等用品)	
③ サービス	自動車整備・钣金	
	自動車教習	
	生活用品等企画販売	
④ 不動産関連	不動産賃貸	保有資産の収益化
	温浴施設運営・介護予防支援	

Ⅱ：連結業績概要

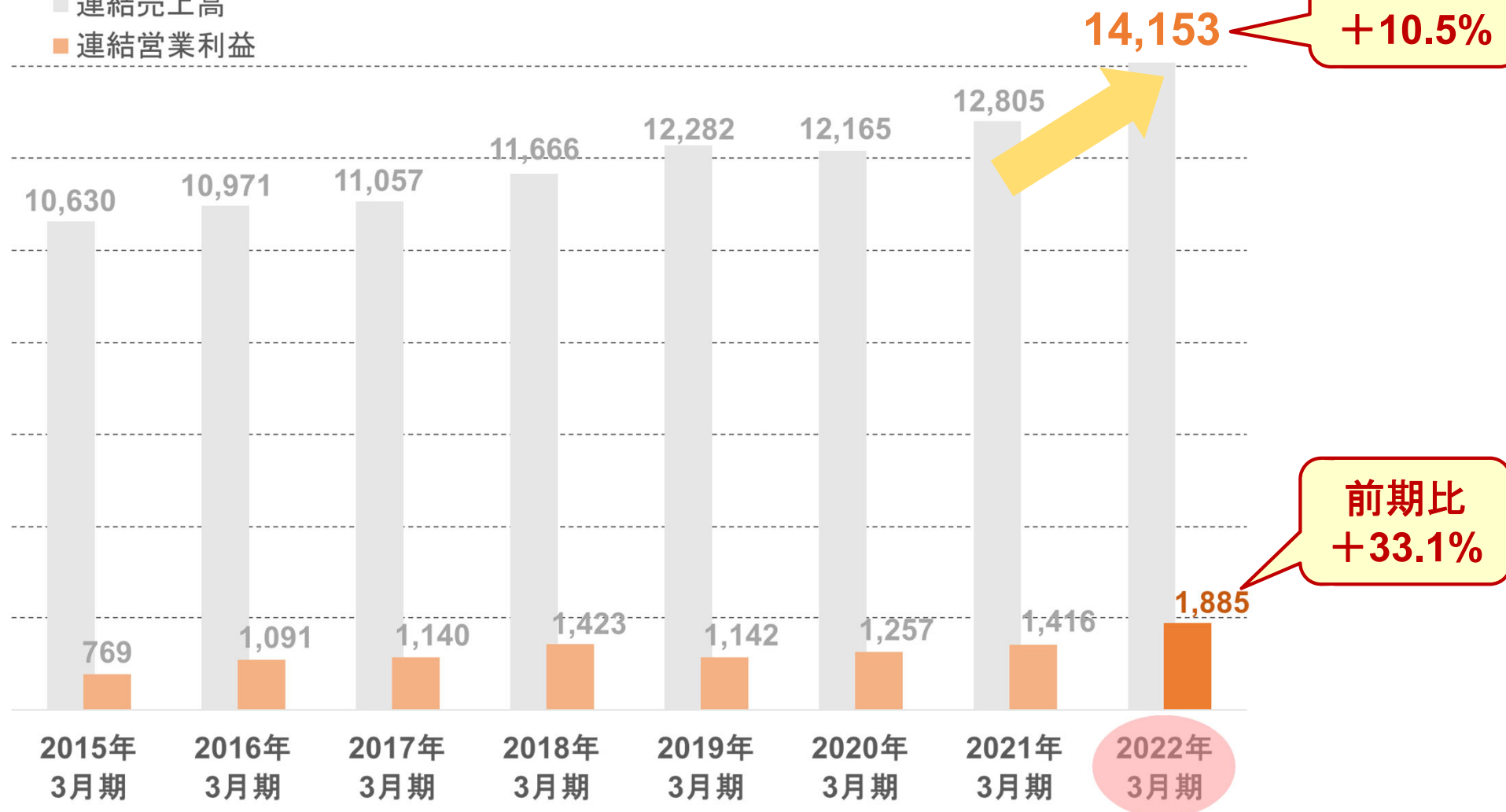
連結損益の概要



第2四半期累計期間の連結損益推移

(単位:百万円)

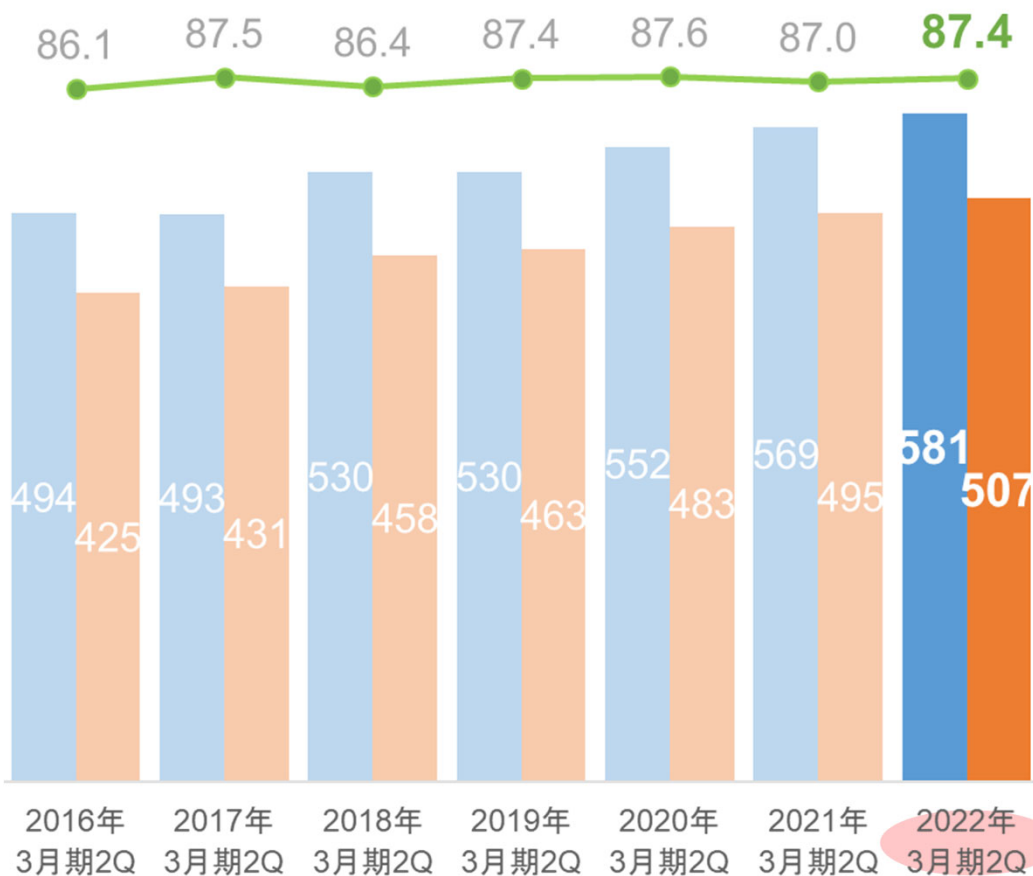
- 連結売上高
- 連結営業利益



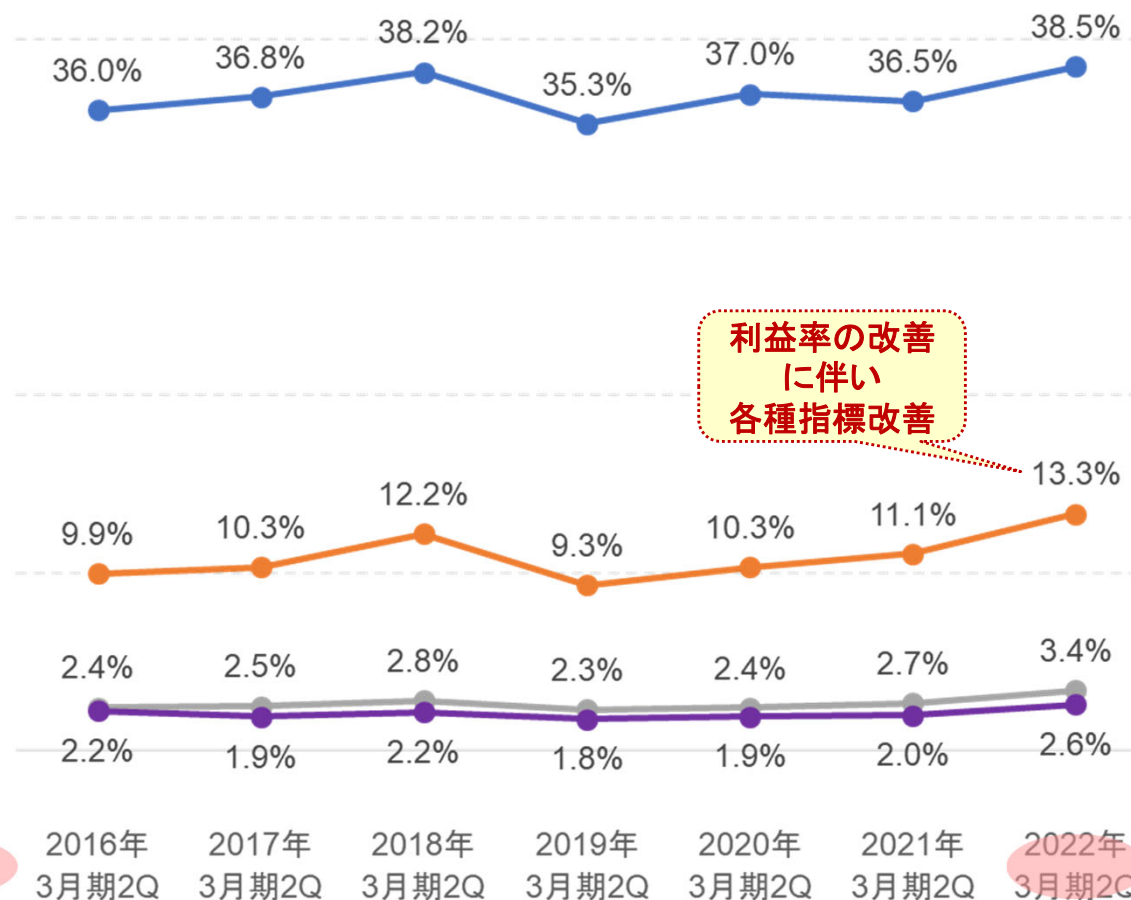
主要経営指標



■ 連結総資産(億円)
■ 連結純資産(億円)
● 自己資本比率(%)



● 粗利率 ● 営業利益率
● ROA(2Q) ● ROE(2Q)

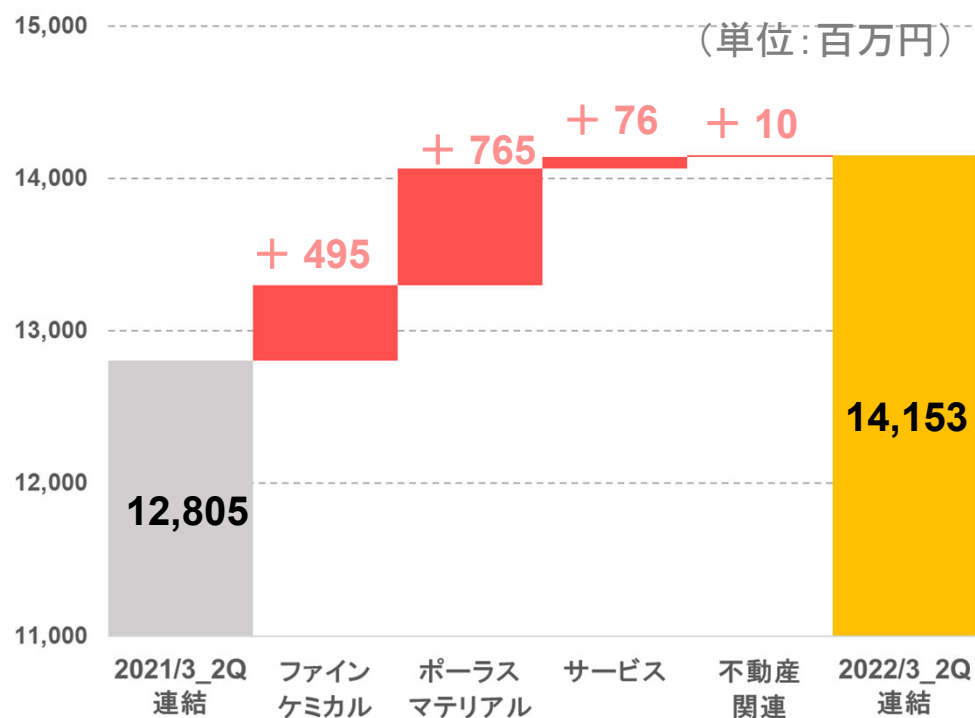


Ⅲ：事業の概況 (2022年3月期)

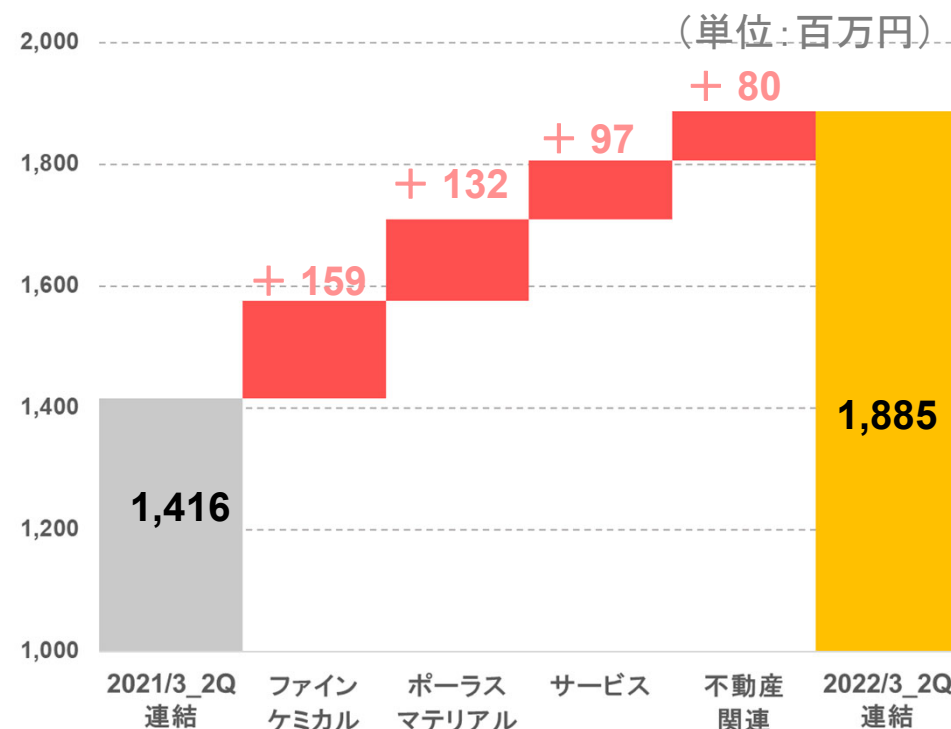
セグメント別 通期 損益増減(前期比)

- ファインケミカル・・・コロナ禍で縮小した一般消費者・海外市場が回復し増収増益。
- ポーラスマテリアル・・・・・・・・費用増加しているものの、販売好調により増収増益。

セグメント別売上高・前期比増減



セグメント別利益・前期比増減



(注)連結調整額除く

コロナ禍がもたらした影響（セグメント別）

事業セグメント	サブセグメント	コロナ禍の影響（2022年3月期）
① ファインケミカル 	一般消費者用製品（自動車向け）	 ・アフターコロナを意識した積極的販促に成功
	業務用製品（自動車向け、その他産業向け）	 ・中古車販売の伸長に伴い需要増
	家庭用品等製品	 ・マスク着用の常態化に伴う需要増
	海外事業	 ・ロックダウンによる巣ごもりECシフト進む
	タイヤ空気圧監視装置 企画・開発・販売	—
	電子機器・ソフトウェア開発	 ・原材料の調達が難航し、出荷が減少
② ポーラスマテリアル 	産業資材 （ハイテク産業向け精密洗浄・研磨・濾過用途製品） （医療・衛生用途製品）	 ・主要顧客の在庫確保に伴う出荷増  ・テレワーク拡大等による半導体需要増加  ・衛生・医療分野への進出
	生活資材 （自動車、キッチン、化粧、スポーツ等用品）	—
③ サービス 	自動車整備・钣金	 ・コロナ慣れによる回復傾向
	自動車教習	 ・時間を余す大学生の免許取得が増加
	生活用品等企画販売	 ・巣ごもり需要の剥落
④ 不動産関連 	不動産賃貸	—
	温浴施設運営・介護予防支援	 ・営業制限による飲食収益減少

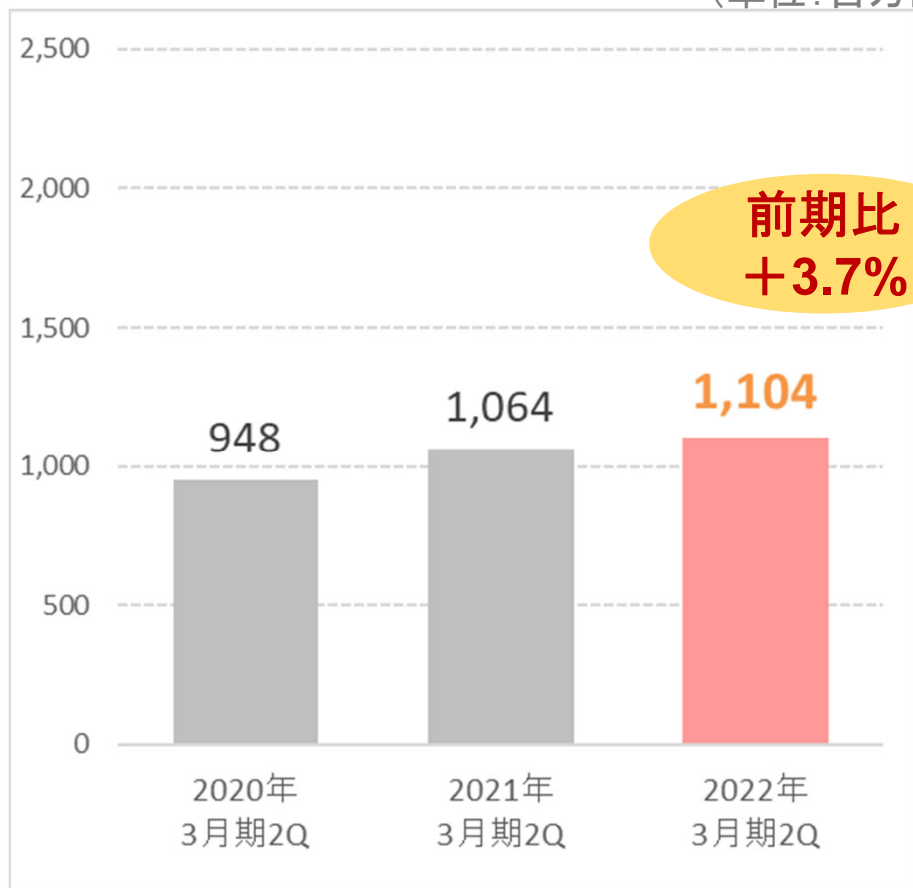
ファインケミカル(1/5) 一般消費者用製品販売



- 巣ごもり消費減衰に備えて販促を強化した結果、売上が伸長した。

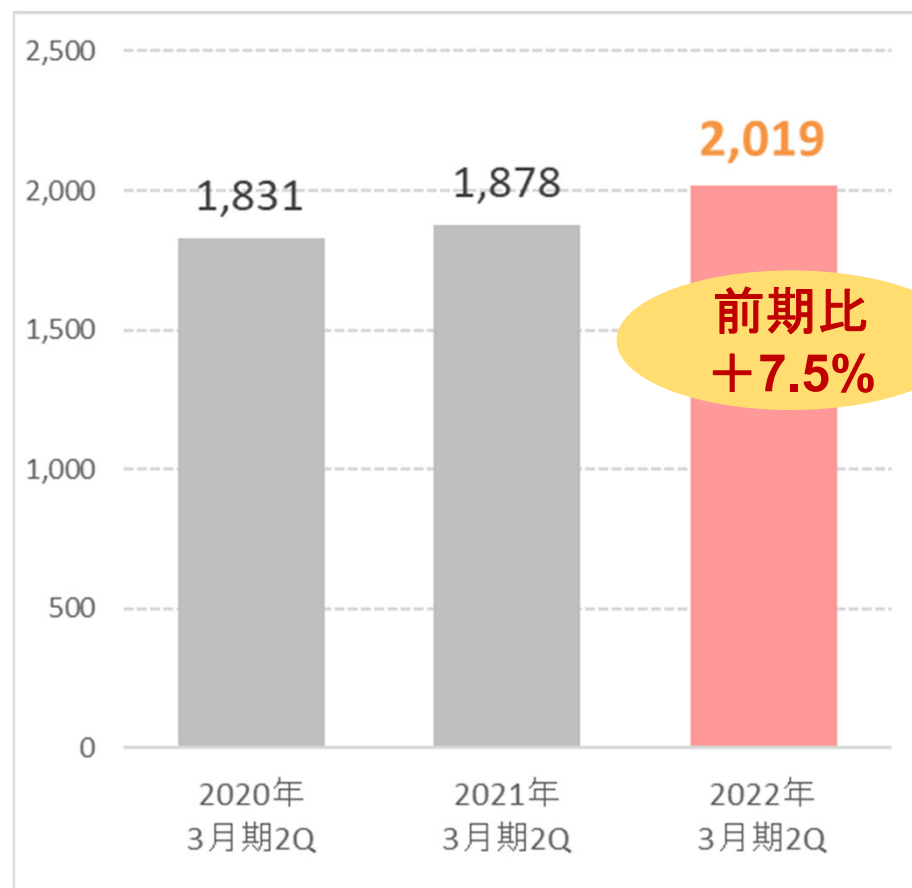
自動車ボディケア 2Q売上

(単位:百万円)



自動車ガラスケア 2Q売上

(単位:百万円)



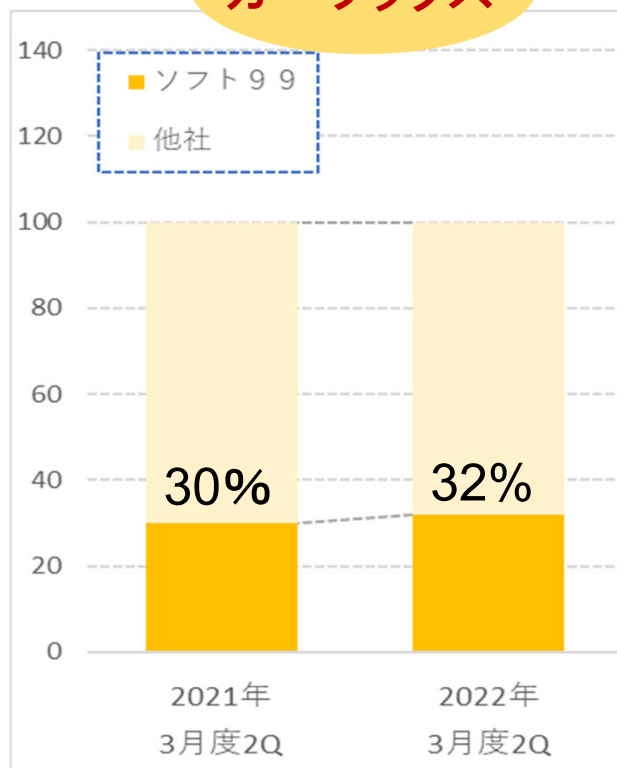
ファインケミカル(2/5) 一般消費者用製品販売②

- 巣ごもり消費減衰に備え、販促を強化した結果、シェアも上昇。

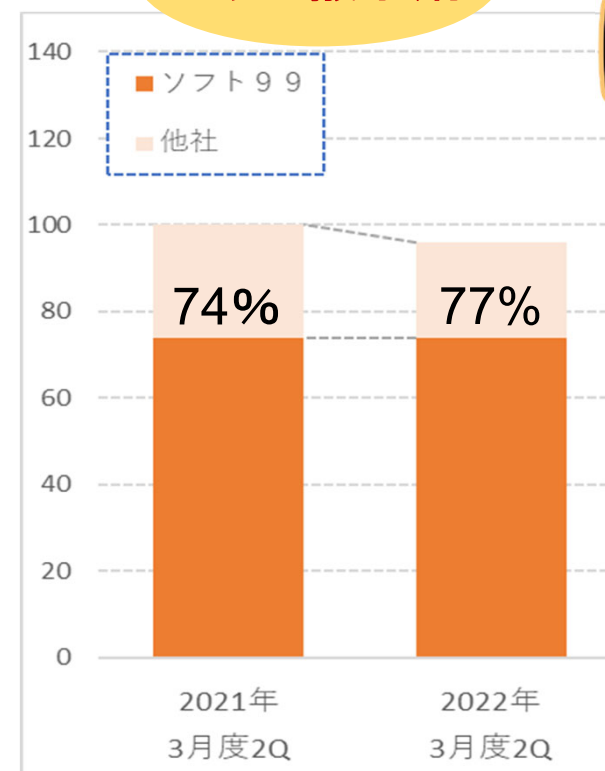
各カテゴリの市場規模・シェア率推移

(市場規模は、2021年3月度2Qを100としたとした値の推移)

カーワックス



ガラス撥水剤



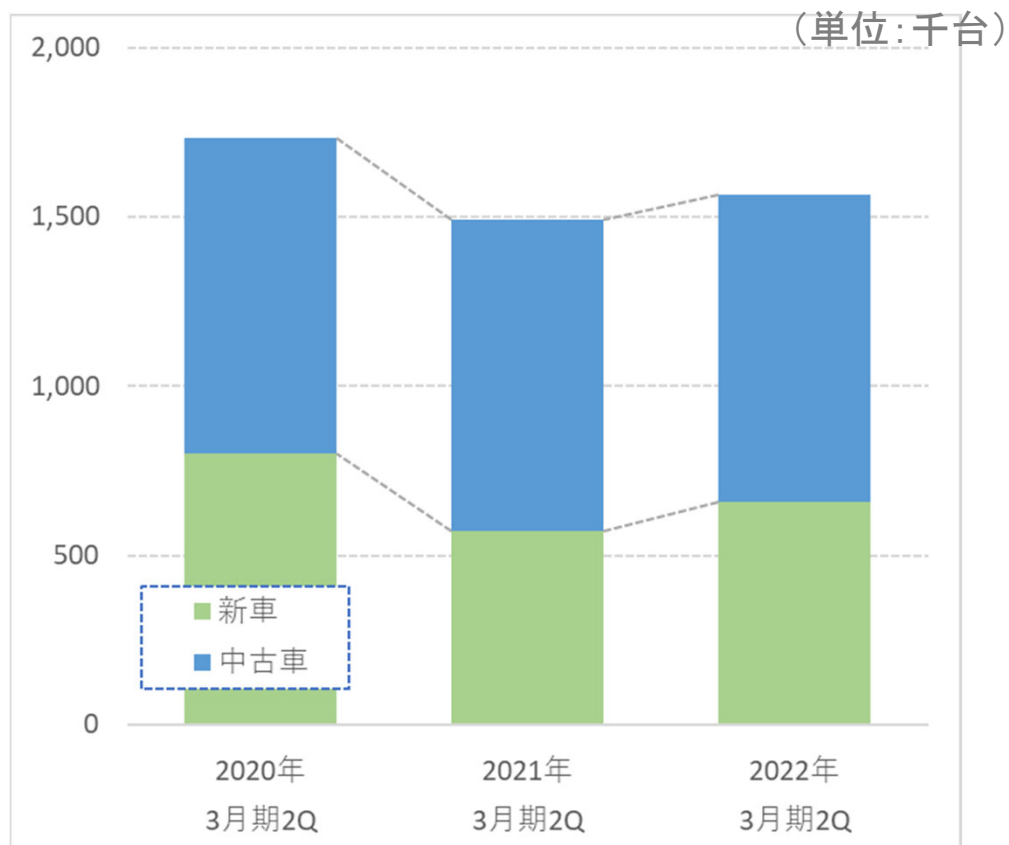
ファインケミカル(3/5) 業務用製品



■ 自動車の販売台数が停滞する中、コーティングの販売は好調に推移。

自動車販売台数の推移

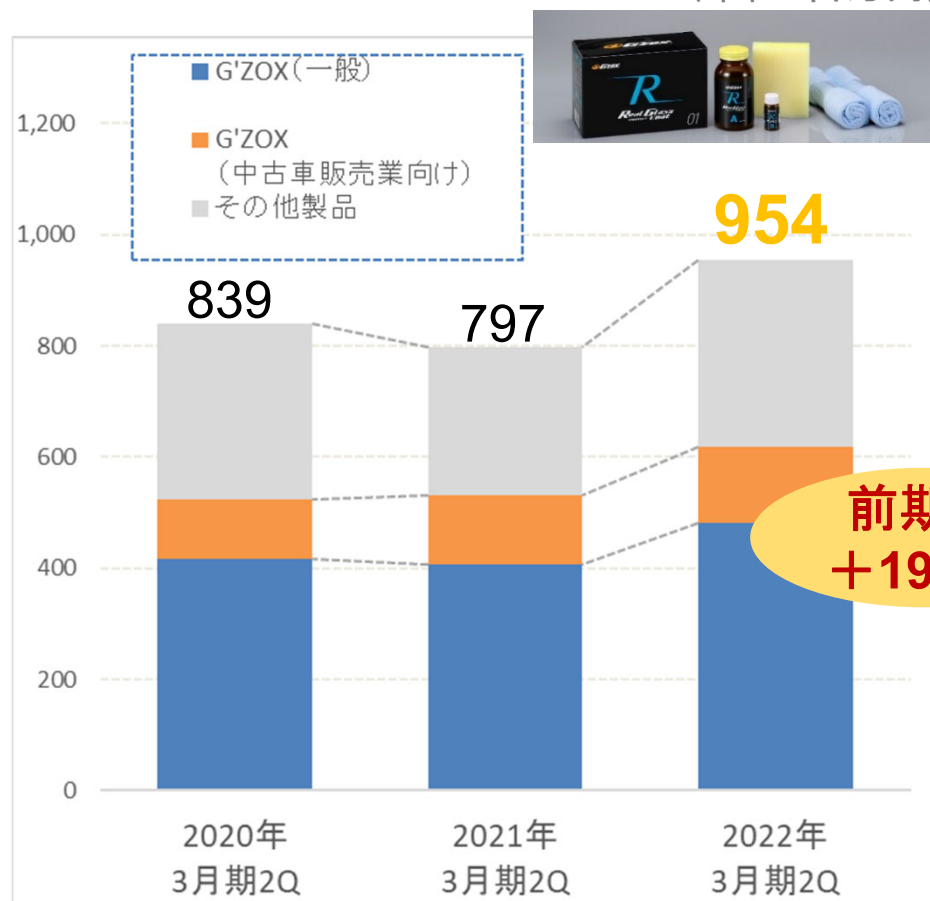
(新車販売台数・中古普通自動車販売台数)



(一般社団法人 日本自動車販売協会連合会 発表資料を当社加工)
※ 軽自動車販売実績は除く。

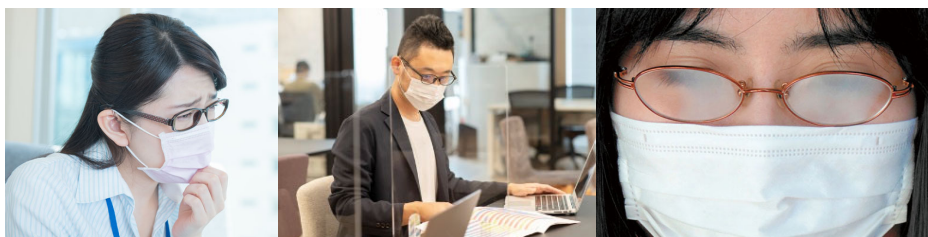
業務用製品 通期売上

(単位: 百万円)



ファインケミカル(4/5) 家庭用品等製品

- マスクを着用する生活が一般化したことにより、メガネケア関連製品の販売が高い水準を維持している。

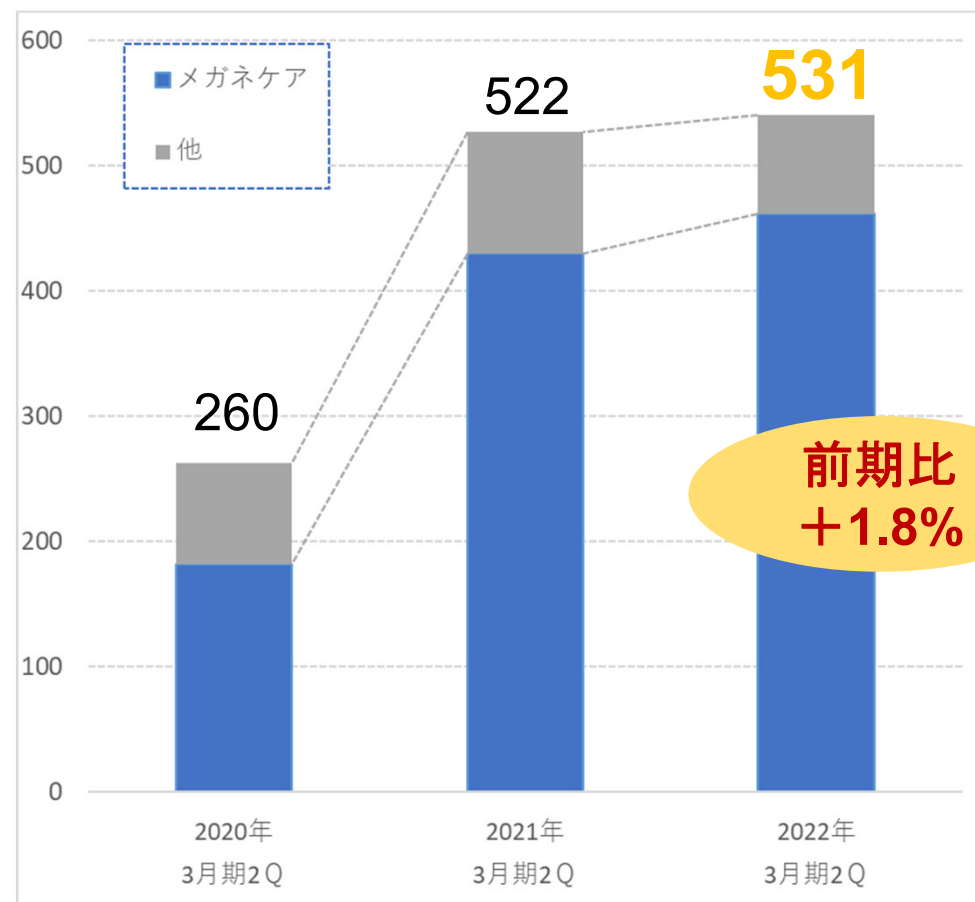


メガネの除菌・くもり止め需要拡大により
メガネケア製品群の販売増加



家庭用品等製品 2Q売上

(単位: 百万円)



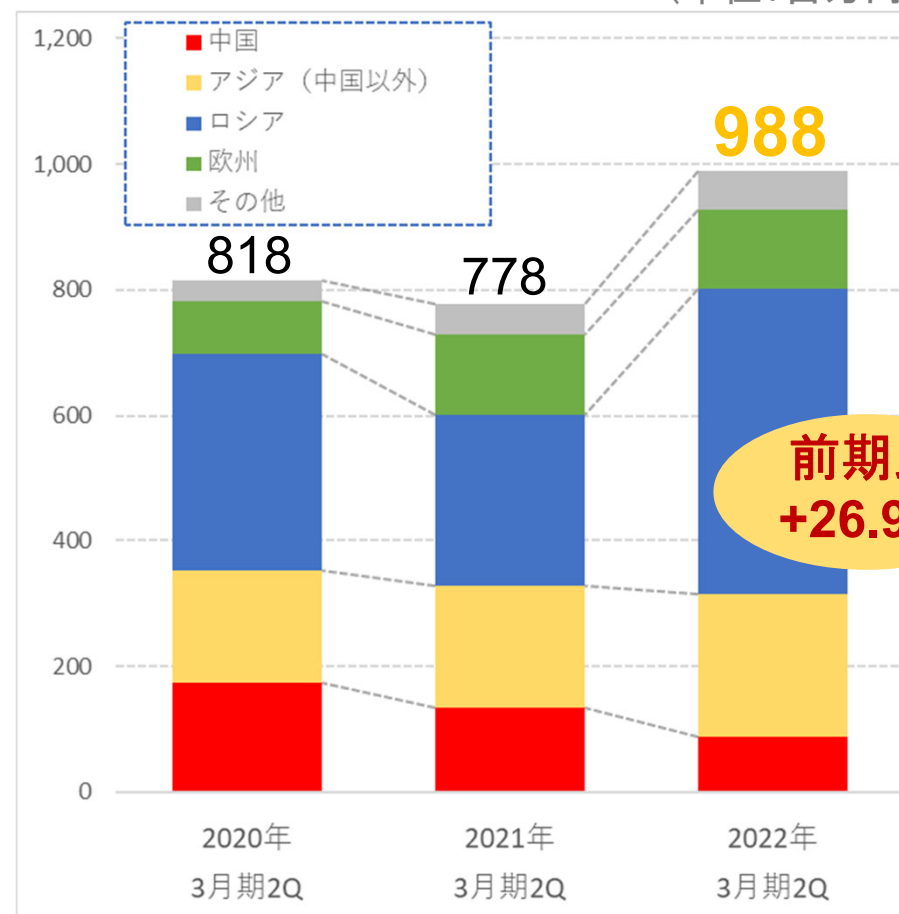
ファインケミカル(5/5) 海外販売



- コロナ禍により、販売に苦戦していたが、徐々にその影響も薄れ、売上が順調に伸長した。

海外販売 2Q売上

(単位:百万円)



リーチ対応製品



現地語対応製品



商品陳列の様子



ポーラスマテリアル 産業資材

- 半導体関連市場の活況・HDDの高容量化により需要増。
- M&Aによる医療・衛生用品向け販売の増加も寄与。



テレワーク等のニーズ増加に伴い、
半導体製造ライン向け製品の需要増



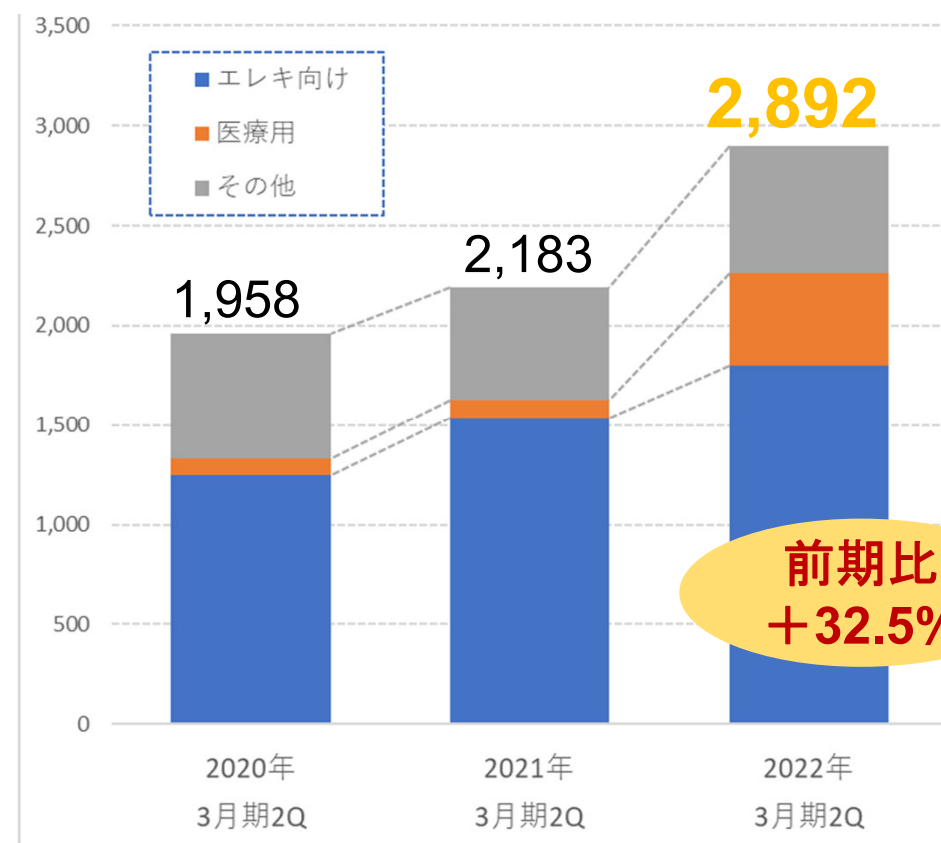
電池需要が増え、
研磨剤も好調



医療分野拡大

産業資材 通期売上

(単位:百万円)



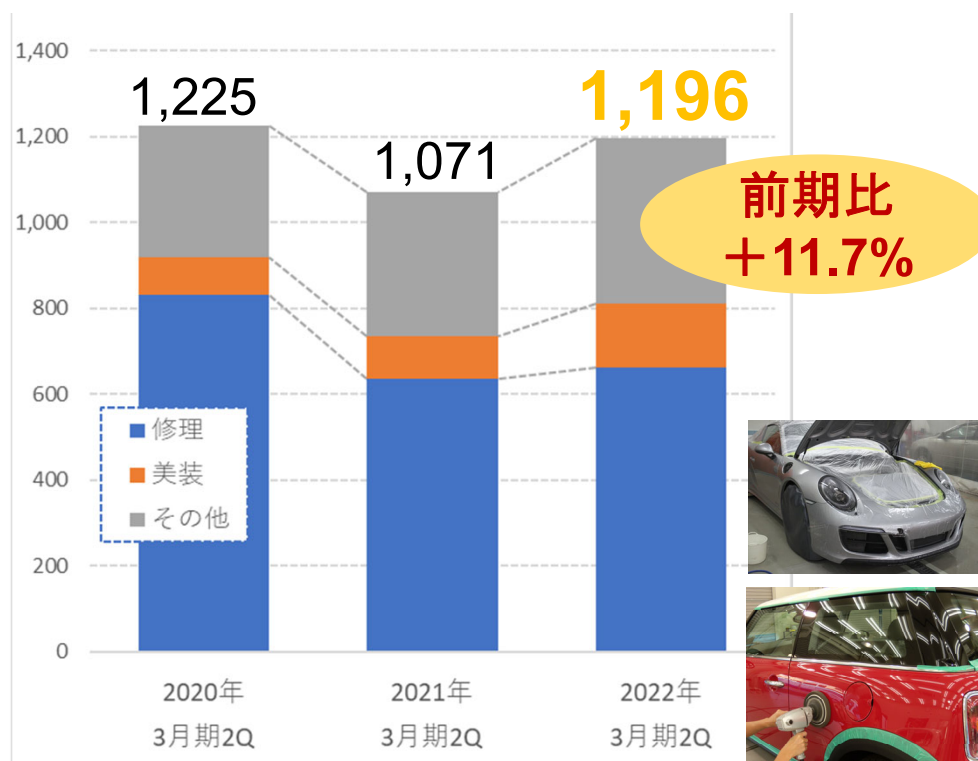
※アズテック株式会社を2021年よりグループ化

サービス 自動車板金・教習事業

- コロナ禍を経て、安全な移動手段として自動車の稼働が増加し、自動車板金事業・教習事業共に需要が回復。

自動車板金整備事業 2Q売上

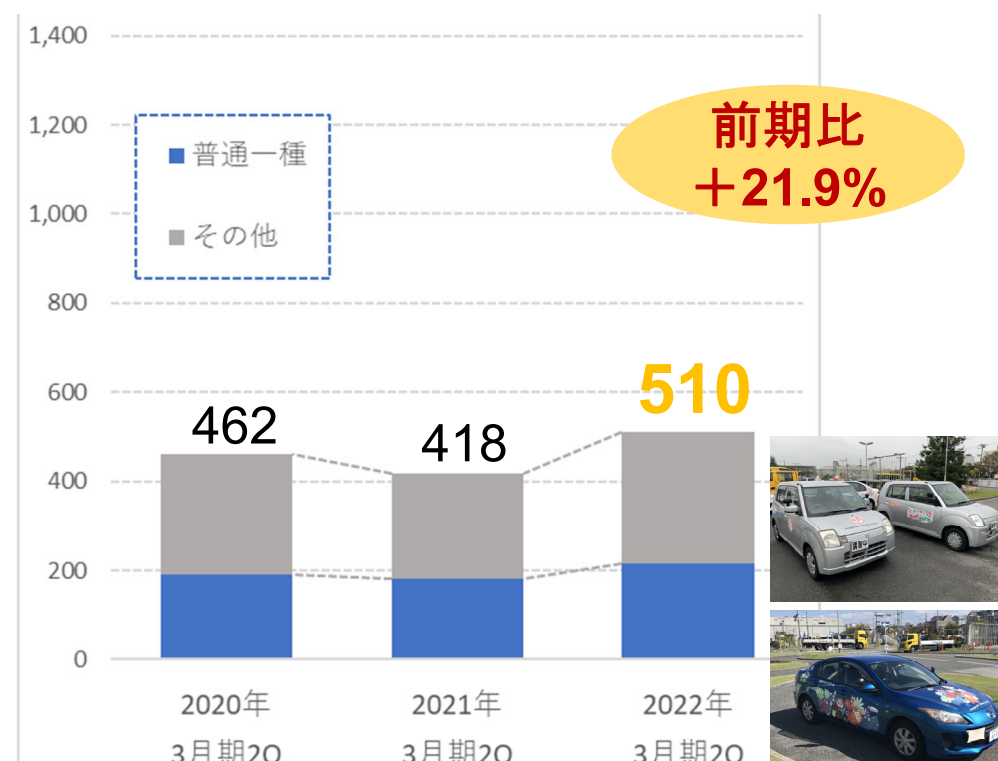
(単位: 百万円)



✓ 板金需要減少傾向に歯止めがかかる。

自動車教習事業 2Q売上

(単位: 百万円)

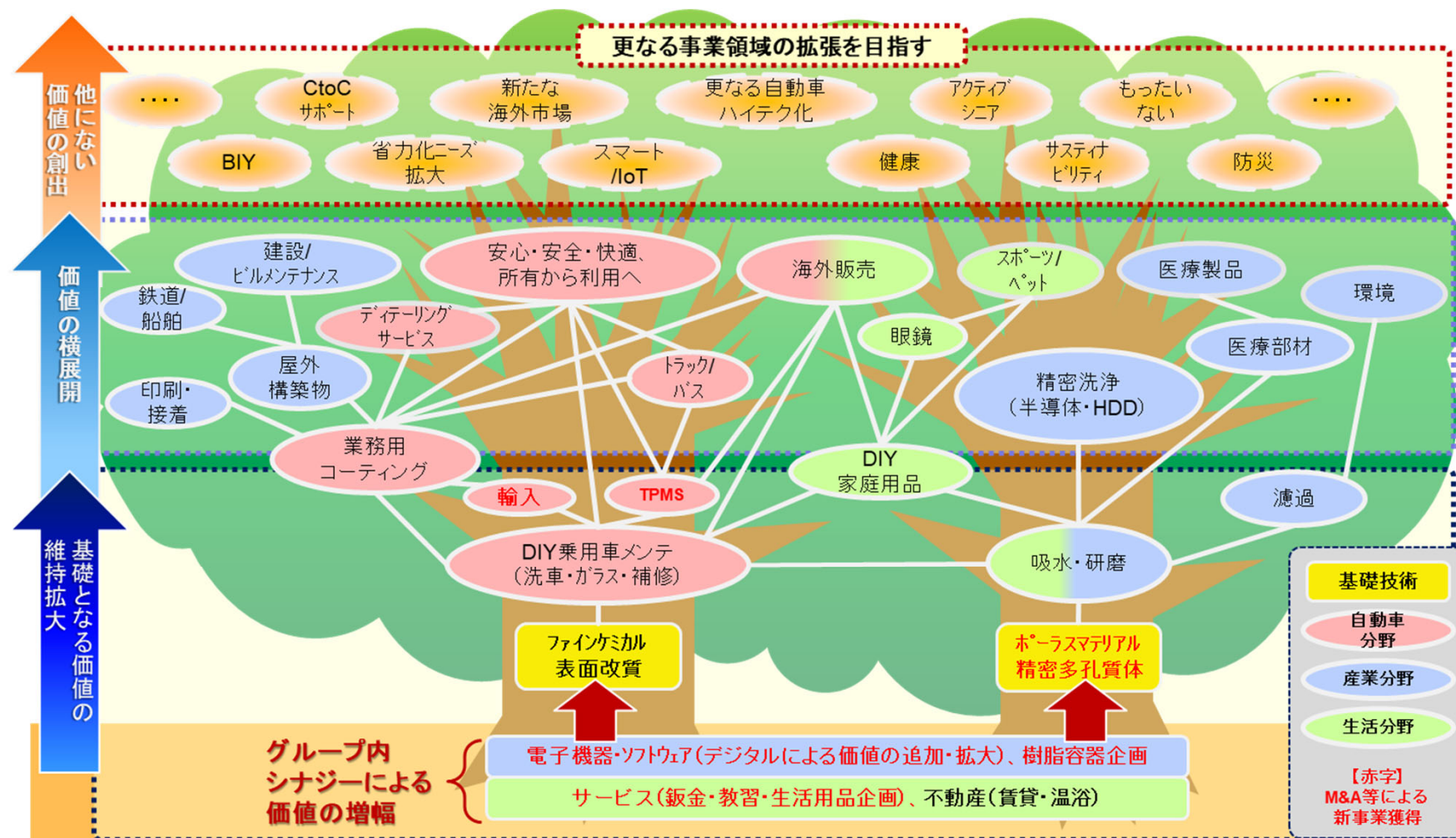


✓ 合宿免許敬遠に伴い、学生の入所者が増加。

IV：中期経営計画に基づいた当社の取り組み

第6次中期経営計画の概要(2020年5月開示資料より引用)

- “他にない”新しい価値の創出に向け、当社グループ既存技術ノウハウの横展開の更なる推進と、新たな技術ノウハウの取り込み・技術ノウハウ同士の掛け合わせによる事業領域の拡張を目指す。



今後の取組み:ファインケミカル(1/2)

- キレイな車を維持することで、事故のない安全な車社会を目指す。

水なし洗車
の普及イベント



車内美装の強化
～抗菌・抗ウィルス・汚れ防止～



ガラコ販売強化



高付加価値コーティングの投入
× 施工パートナーの育成



今後の取組み：ファインケミカル(2/2)

- 2021年11月より「メガネのくもり止め」テレビCMスタート。メガネケア市場の更なる拡大と認知向上を目指す。

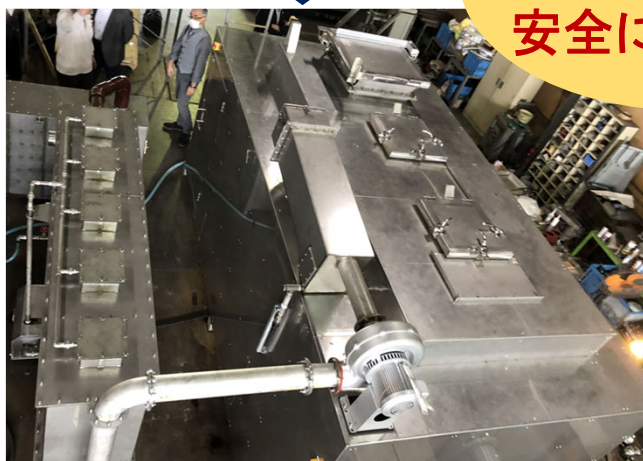


今後の取組み:ポータスマテリアル(1/2)

滅菌減容設備

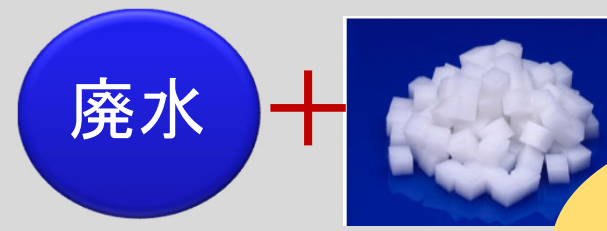


病院で発生する
医療廃棄物も、
安全に小容量化

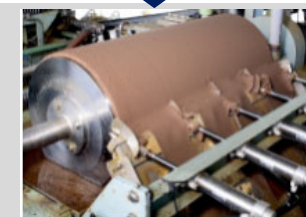
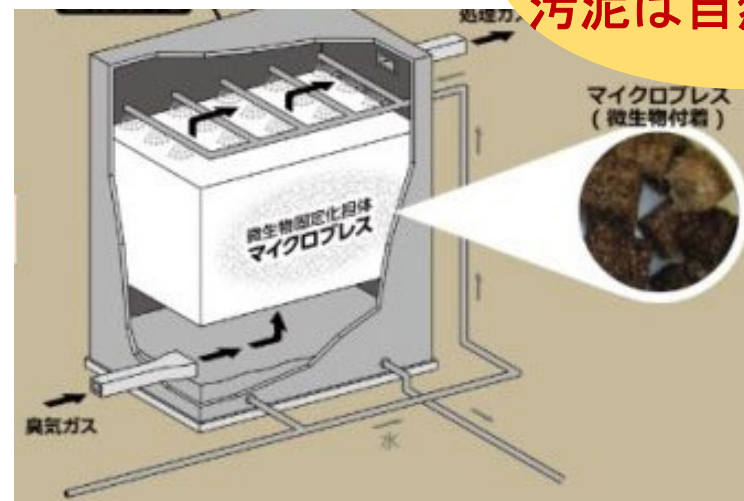


50分の1まで
減容

廃水処理設備



廃水を処理し、
水をキレイに
汚泥は自然へと循環



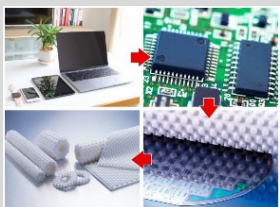
廃水を資源化し、
再利用

今後の取組み:ポータスマテリアル(2/2)

■ 工場棟の拡張により生産能力増強＋医療分野強化を目指す。

産業資材:エレキ分野の需要拡大に対応

想定以上の半導体需要の拡大により、工場の稼働上限が近づく。



人員増・稼働日増により足元需要に対応中



産業資材:医療分野の強化を推進

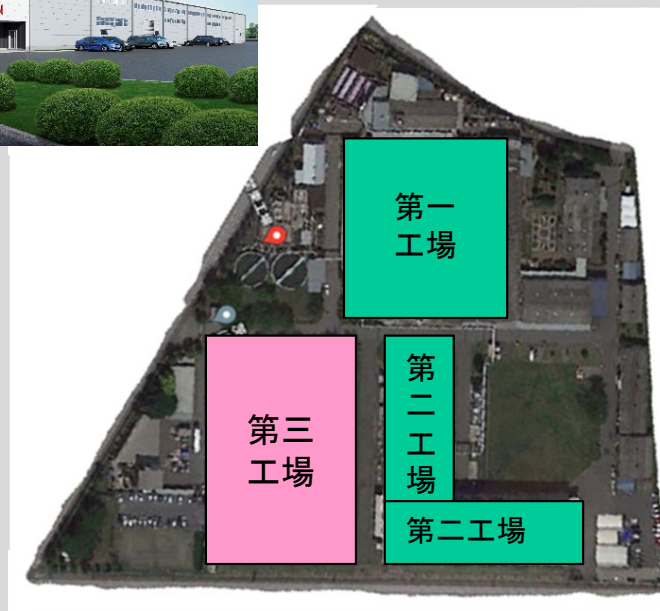
一般医療機器(クラスⅠ)製品の製造販売業許可を取得。



病院向け衛生用品を販売するアズテック株式会社を子会社化し、医療分野の販路拡大。



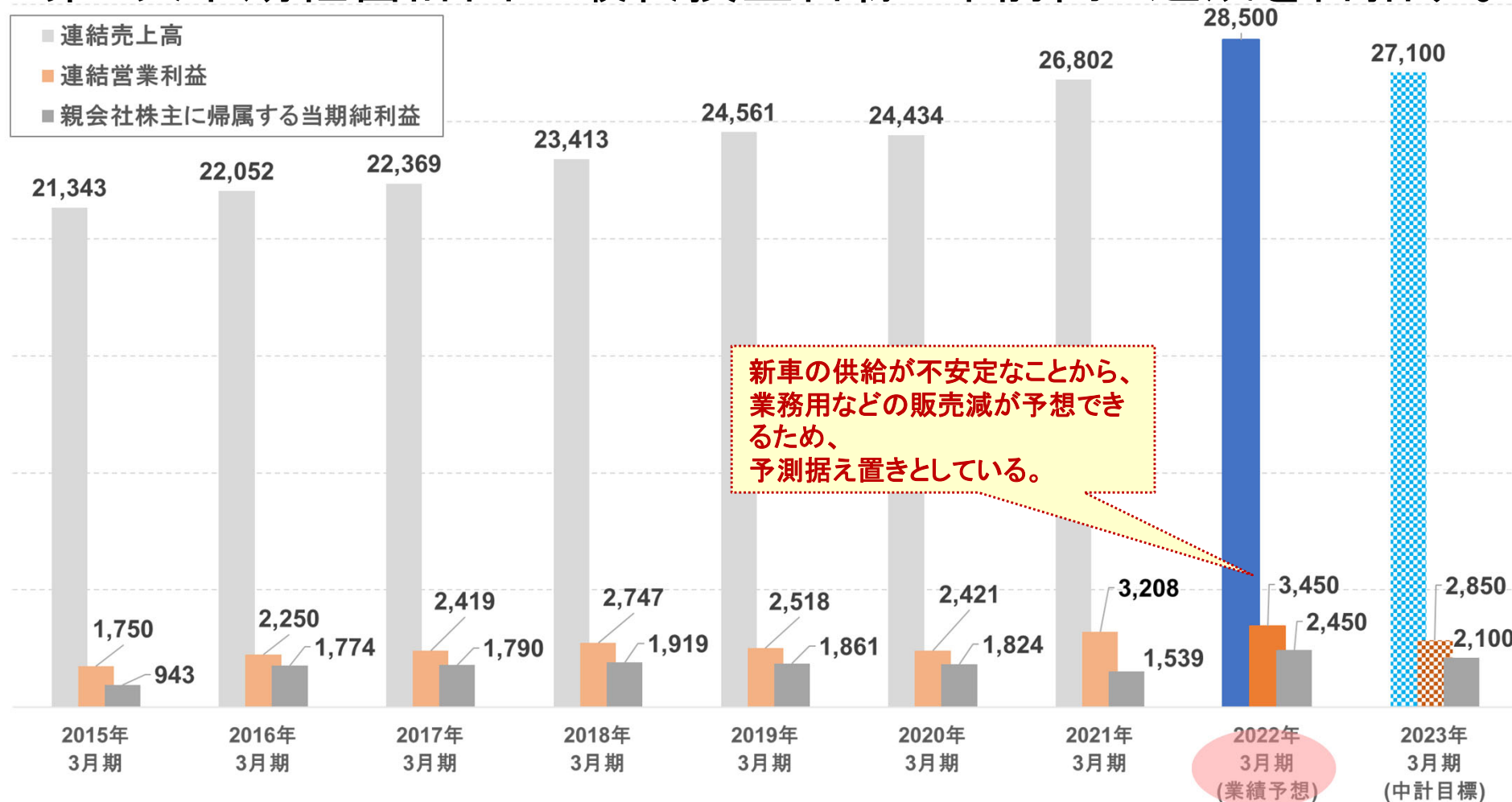
茨城県古河市 アイオン関東工場 第3工場棟の新設 (2022年竣工予定)



V : 通期業績予想と配当予想

2022年3月期 通期業績予想

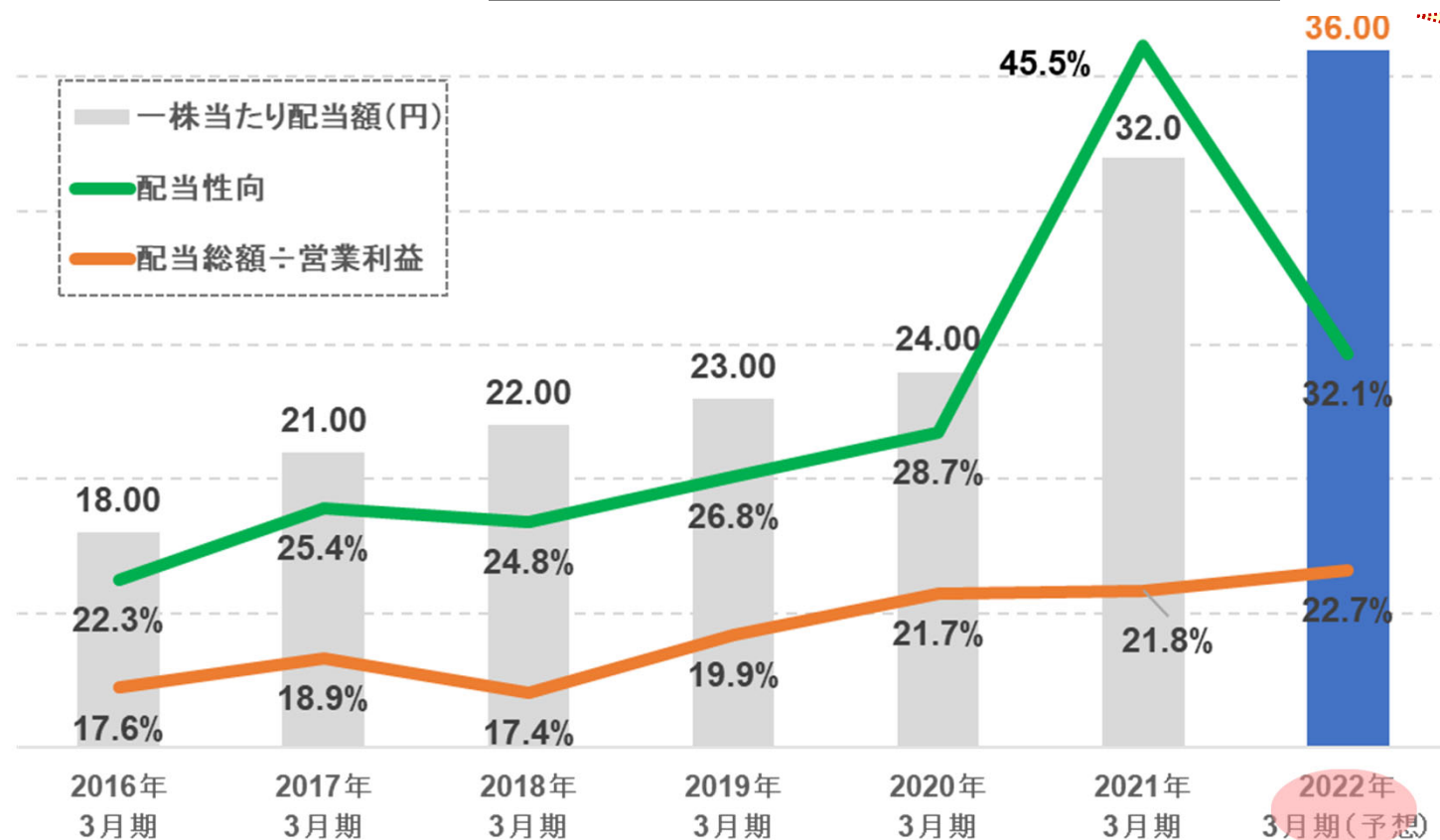
- コロナ禍に対応した製品販売を促進することによって、
第6次中期経営計画の最終損益目標1年前倒し達成を目指す。



2022年3月期 通期配当予想

- 2022年3月期配当は、中間・期末共に2.0円/株の増配実施により、通期で36.0円/株（前期比＋4.0円/株）となる予定。
- 2022年3月期は、自社株式購入を実施し、80,000株取得する予定。

通期配当実績の推移と配当予想



前期比
＋4.0円/株

(注)
2021年11月～実施の自己株式の取得80,000株が達成されたと仮定しての数値を記載。

Appendix: 計数資料

要約連結貸借対照表(対前期末比較)



(単位: 百万円)

	2021年 3月末	2021年 9月末	増減額		2021年 3月末	2021年 9月末	増減額
流動資産	27,950	28,421	+ 471	流動負債	4,229	4,081	▲ 148
現金及び預金	19,170	18,822	▲ 347	仕入債務	1,363	1,342	▲ 21
売上債権	3,795	3,999	+ 204	未払法人税等	783	643	▲ 140
有価証券	601	701	+ 99	未払金・未払費用	1,434	1,257	▲ 176
棚卸資産	3,436	3,807	+ 370	その他	648	837	+ 189
その他	946	1,091	+ 144	固定負債	3,181	3,265	+ 84
固定資産	29,336	29,716	+ 380	負債合計	7,411	7,347	▲ 64
有形固定資産	20,916	21,372	+ 456	純資産	49,874	50,789	+ 915
無形固定資産	797	708	▲ 89	株主資本	49,479	50,321	+ 841
投資その他の資産	7,622	7,635	+ 13	その他包括利益累計額	395	468	+ 73
資産	57,286	58,137	+ 851	負債及び純資産	57,286	58,137	+ 851

連結業績(損益:対前期比較)



(単位:百万円)

	2021年3月期 第2四半期累計	2022年3月期 第2四半期累計	対前年比 増減額	対前年比 増減率
売上高	12,805	14,153	+1,348	+10.5%
売上総利益	4,679	5,451	+771	+16.5%
売上総利益率	36.5%	38.5%	+2.0pt	-
販売費及び一般管理費	3,262	3,565	+302	+9.3%
営業利益	1,416	1,885	+469	+33.1%
営業利益率	11.1%	13.3%	+2.3pt	-
経常利益	1,523	1,986	+462	+30.4%
税金等調整前当期純利益	1,524	1,986	+462	+30.4%
親会社株主に帰属する当期純利益	995	1,332	+337	+33.9%

要約連結キャッシュフロー(対前期比較)



(単位:百万円)

	2021年3月期 第2四半期累計	2022年3月期 第2四半期累計
営業活動によるキャッシュ・フロー	+ 1,067	+ 999
投資活動によるキャッシュ・フロー	▲ 1,265	▲ 707
財務活動によるキャッシュ・フロー	▲ 278	▲ 522
現金及び現金同等物に係る換算差額	▲ 0	+ 0
現金及び現金同等物の増加額(▲減少額)	▲ 477	▲ 228
現金及び現金同等物の期首残高	17,782	18,649
現金及び現金同等物の期末残高	17,305	18,421

減価償却費	373	364
設備投資額(※)	280	782

(※)有形固定資産の取得による支出

連結経営指標ハイライト(対前年比較)



	2021年3月期 第2四半期累計	2022年3月期 第2四半期累計	増減
総資産(百万円)	56,902	58,137	+ 1,235
純資産(百万円)	49,507	50,789	+ 1,282
自己資本比率	87.0%	87.4%	+ 0.4pt
ROA(経常利益÷総資産※)	2.7%	3.4%	+ 0.7pt
ROE(純利益÷純資産※)	2.0%	2.6%	+ 0.6pt
総資産回転率(売上高÷総資産※)	0.23	0.24	+ 0.02
1株当たり純利益(円)	45.56	61.05	+ 15.49

※ 各利益は2021年3月期末時点を使用しております。

※ 総資産・純資産の額は2021年3月期末時点を使用しております。

ファインケミカル(損益:対前期比較)



(単位:百万円)		2021年3月期	2022年3月期	対前期比	対前期比
		第2四半期累計	第2四半期累計	増減額	増減率
売上高		6,720	7,215	+ 495	+ 7.4%
	一般用製品:ボディケア	1,064	1,104	+ 39	+ 3.7%
	一般用製品:ガラスケア	1,878	2,019	+ 140	+ 7.5%
	一般用製品:リペアグッズ	1,381	1,307	▲ 74	▲ 5.4%
	業務用製品	797	954	+ 157	+ 19.7%
	家庭用品等	522	531	+ 9	+ 1.8%
	海外事業	778	988	+ 209	+ 26.9%
	TPMS(タイヤ空気圧監視装置)	90	114	+ 24	+ 27.2%
	電子機器・ソフトウェア開発	304	231	▲ 73	▲ 24.0%
	その他・調整	▲98	▲36	+ 61	▲ 62.9%
売上総利益		3,173	3,373	+ 199	+ 6.3%
	粗利益率	47.2%	46.7%	▲ 0.5pt	—
営業利益		994	1,154	+ 159	+ 16.1%
	営業利益率	14.8%	16.0%	+ 1.2pt	—

ポーラスマテリアル(損益:対前期比較)



(単位:百万円)			2021年3月期 第2四半期累計	2022年3月期 第2四半期累計	対前期比 増減額	対前期比 増減率
売上高			2,874	3,640	+ 765	+ 26.6%
	産業資材		2,183	2,892	+ 708	+ 32.5%
		国内	980	1,442	+ 462	+ 47.2%
		海外	1,203	1,449	+ 246	+ 20.5%
	生活資材		691	748	+ 56	+ 8.2%
		国内	447	419	▲ 27	▲ 6.2%
		海外	244	328	+ 84	+ 34.6%
売上総利益			904	1,282	+ 377	+ 41.7%
粗利益率			31.5%	35.2%	+ 3.7pt	—
営業利益			397	530	+ 132	+ 33.3%
営業利益率			13.8%	14.6%	+ 0.7pt	—

サービス(損益:対前期比較)

(単位:百万円)		2021年3月期 第2四半期累計	2022年3月期 第2四半期累計	対前期比 増減額	対前期比 増減率
売上高		2,635	2,712	+ 76	+ 2.9%
	自動車整備・鈑金事業	1,071	1,196	+ 125	+ 11.7%
	自動車教習所	418	510	+ 91	+ 21.9%
	生活用品企画販売	1,145	1,004	▲ 140	▲ 12.3%
売上総利益		555	671	+ 115	+ 20.8%
粗利益率		21.1%	24.7%	+ 3.7pt	—
営業利益		▲ 0	97	+ 97	—
営業利益率		▲ 0.0%	3.6%	+ 3.6pt	—

不動産関連(損益:対前期比較)

(単位:百万円)		2021年3月期 第2四半期累計	2022年3月期 第2四半期累計	対前期比 増減額	対前期比 増減率
売上高		574	584	+ 10	+ 1.8%
	不動産賃貸	198	216	+ 18	+ 9.2%
	温浴事業	356	346	▲ 10	▲ 2.9%
	介護予防支援事業	19	22	+ 2	+ 12.3%
売上総利益		54	124	+ 69	+ 128.8%
粗利益率		9.4%	21.2%	+ 11.8pt	—
営業利益		20	101	+ 80	+ 393.0%
営業利益率		3.5%	17.3%	+ 13.8pt	—

セグメント情報(セグメント別売上高・営業利益比較)



(単位:百万円)

売 上 高	2021年3月期 第2四半期累計	全体構成比率	2022年3月期 第2四半期累計	全体構成比率	対前期構成比増減
ファインケミカル	6,720	52.5%	7,215	51.0%	▲ 1.5pt
ポーラスマテリアル	2,874	22.4%	3,640	25.7%	+ 3.3pt
サービス・不動産関連	3,210	25.1%	3,297	23.3%	▲ 1.8pt
合 計	12,805	100.0%	14,153	100.0%	—

営 業 利 益	2021年3月期 第2四半期累計	全体構成比率	2022年3月期 第2四半期累計	全体構成比率	対前期構成比増減
ファインケミカル	994	70.2%	1,154	21.2%	▲ 49.0pt
ポーラスマテリアル	397	28.0%	530	9.7%	▲ 18.3pt
サービス・不動産関連	20	1.4%	198	3.6%	+ 2.2pt
(※)合 計	1,416	100.0%	5,451	100.0%	—

(※)合計には連結調整額を含む。

SEEK OUT INNOVATION

～ 未来の“あたりまえ”を発見する～

